



なでしこ

令和7年8月27日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】 597名

【校訓】かしこく なかよく たくましく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かいばいやりぬく子

「命を守るための備え」

校長 村田 寿一

長かった夏休みが終わり、しんと静まりかえっていた学校に谷田っ子の元気な声が戻ってきました。今年の夏休みはいかがでしたでしょうか。家庭において有意義な時間を過ごすことができたでしょうか。今年の夏は、猛暑日の連続で保護者の皆様も子どもたちの体調管理が大変だったことと思います。しかしながら、期間中に大きな事故やケガの報告がなかったことは、保護者の皆様や地域の皆様があたたかく見守ってくださったお陰です。心より感謝申し上げます。子ども達が夏休み中に充電したパワーを2学期、学校で大いに発揮されることを期待しています。2学期も本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、9月1日は「防災の日」です。1923年(大正12年)9月1日午前11時58分に関東大震災が発生し、死者、行方不明者は推定10万5000人という大災害となりました。そして、この9月1日が「防災の日」と定められ、近代日本における災害対策の出発点となりました。災害に対して、家庭でできることにはどんなことがあるのでしょうか。改めて話し合う機会としてみてはいかがでしょうか。

災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておきましょう～

○家具の置き方は工夫していますか？

阪神淡路大震災や新潟中越地震では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり大けがをしたりしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えましょう。

- ・家具はできる限り壁に固定する、子ども部屋に家具をなるべく置かない。置く場合はなるべく背の低いものにして倒れたときに出入口をふさがないように向きや配置を工夫する。
- ・手の届くところに、懐中電灯、スリッパ、ホイッスルを備えておく。

○食料・飲料水などの備蓄は十分ですか？

ライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料を備蓄する。

- ・飲料水 一人1日3リットルが目安
- ・非常食 ごはん(アルファ米など)、ビスケット、チョコレート、乾パンなど
- ・トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ライター、ろうそく、カセットコンロ、ポータブル電源など
- ・生活用水も必要なので日頃から水道水を入れたポリタンクや風呂の水を張っておくなどの工夫をする。

○非常持ち出しバッグの準備は？

避難場所に避難し生活を送ることも想定し、事前に非常持ち出しのためのリュックを用意しておきましょう。

※持ち出しチェックリストはWEB検索するといろいろ出てくるので参考にしてください。

○ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？

お互いの安否が確認できるように日頃から安否確認方法や集合場所などを事前に話し合っておきましょう。

- ・災害伝言ダイヤル

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。

- ・災害伝言板

携帯電話からインターネットサービスを利用して情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが閲覧できます。

○避難場所や避難経路の確認をしていますか？

- ・あわてずに避難できるように防災マップやハザードマップを入手し、事前に確認しましょう。

災害に備えることは、命を守ることです。災害による被害をできるだけ少なくするには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」です。学校でも安全教育を進め、自らの命は自ら守る意識を育てていきます。